

地域住宅生産者グループ
福島環境防災住宅研究会

地域型復興住宅の名称	対象となる地域
夢光房の家	福島県全域

グループの特徴とメッセージ

福島環境防災研究会のコンセプトは、災害に強い家づくりです。
 具体的には地震に強い事は当然として、電気・ガス・水道等のライフラインが遮断された時でも普段と変わらない生活が出来る事です。太陽光発電と蓄電システムで停電時・日中から夜間でも電気が使えます。また断水して一番困る事はトイレでした。その問題を解決するために雨水を貯めトイレの排水に使用できるようになっています。太陽光で電気を創り、雨水を貯めて排水に使う。災害に強い家は環境にもやさしい家と言えます。

研究会のメンバーは、福島県内において各地域の風土や特性を理解し長年建築業界に携わってきた会社です。常に会員が連携し情報の共有化を図り技術の向上に勤めています。研究会の活動を通しお施主様の安心と満足の家づくりのお手伝いをし、住宅の資産向上を図る事で社会貢献する事を理念としています。

グループの基本情報

グループ名称	福島環境防災住宅研究会
所在地	福島県伊達市保原町町上保原字万所 26、(株)カノウヤ内
結成年月	2012年2月
グループ形態	任意団体
主たる業態	施工
グループ構成 ※各事業者名は別紙	合計 24 社 原木供給 : 2 社 製材 : 2 社 建材流通 : 2 社 プレカット : 2 社 設計 : 3 社 施工 : 10 社 その他 : 3 社
代表者名	樋口静克(株式会社カノウヤ代表取締役社長)
主な受賞歴・活動内容等 (※グループ内構成員受賞歴)	<ul style="list-style-type: none"> 平成 22 年木のいえ整備促進事業採択 (実績 14 棟) 平成 23 年木のいえ整備促進事業採択 (実績 19 棟) 資金セミナー開催 (年 3 回)

地域型復興住宅の主な工法・価格帯

主な構造・工法	木造軸組工法
価格帯	1,380~1,880 万円
価格の基準面積	132 m ²
価格に含まない項目	屋外工事費、外構工事費、設計料、諸手続費

*価格は、地域・プラン、仕様によって異なります。詳しくはお問い合わせください。

グループ全体の施工実績 (年間)

建設戸数* (木造戸建)	86 戸
うち地域材活用の住宅	86 戸
うち長期優良住宅	19 戸
グループとしての施工実績	なし
グループとしての地域型住宅の受注可能戸数	100 戸
自由記入欄 (上記以外の実績等)	会員による 200 棟の仮設住宅の建設

*参画する施工業者の建設戸数の合計

連絡窓口

担当者名	樋口 静克	メール	info@1kanouya.com
電話番号	024-575-2308	F A X	024-576-2204
ホームページ	http://www.kanouya3.com/		
自由記入欄			

地域型復興住宅

夢光房の家

地域型復興住宅のイメージと特徴

■災害に強い家

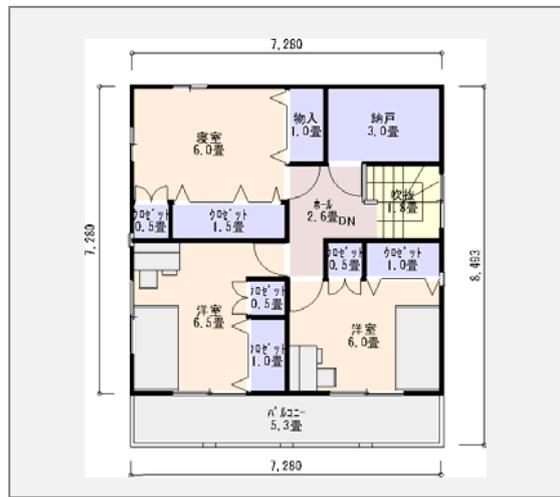
(停電しない家・断水しない家)

- ・災害に強い家をコンセプトにしています。ライフラインが遮断された時でも電気と水を自給出来る家になっています。太陽光発電で電気を創り蓄電池に蓄電します。また雨水をタンクに貯めトイレの排水に使います。災害に強い家は環境にやさしい家と言えます。



■住む人の健康を意識した家

- ・生活の場である家で健康を維持できる事が大切です。国立がんセンターや東大医科付属病院の内装工事で使用されている FFC 免疫処理を全棟採用しています。また有害物質を吸着分解するために酸化チタンと白金を使って窓ガラスを処理しています。花粉症・アレルギーの方でも症状改善効果が報告されています。



代表的事例の概要

構造	木造軸組工法	床面積	1階：69.56 m ² 2階：53.00 m ²
設計	(株)カノウヤ設計室 Art 工房	施工	(株)カノウヤ住宅部夢工房
施工費	1,380 万円～ (設計費用は除く)	備考	—

設計方法や地域材活用に関する特徴

■ヤングファミリーにも人気のおしゃれな外観。

ウッドデッキで地域のコミュニティがはかれます。

- ・ 県内森林組合や材木店と協力して福島県産材の杉や桧を供給し、構造から仕上げまで県産材をふんだんに使用します。
- ・ リビングの外側にウッドデッキをつくり、近所の方との交流の場に活用する事が出来ます。地域の絆は小さな交流から形作られます。

主に活用している地域材について

地域材の名称	田村杉
樹種	桧・杉材
産地	福島県田村地域
認証制度等	—
主に取扱う材種	無垢材、集成材
主に取扱う部材	柱材、梁材、羽柄材、内装材
自由記入欄	地域型復興住宅では使用材木の概ね 1/2 以上が県産材を使用。

性能・仕様および施工方法等に関する特徴

■住む方が快適に生活できる事を第一に考えた「災害に強い家」

- ・ 災害時ライフラインが遮断された時でも電気と水を自給出来る家になっています。太陽光発電で電気を創り蓄電池に蓄電し非常用電源として使用出来ます。
- ・ 雨水をタンクに貯めトイレの排水に使います。節電や節水にもつながり災害に強い家は環境にもやさしい家と言えます。
- ・ ペレットストーブを標準装備にし、暖房も外部エネルギーに頼りません。
- ・ 耐震性能は最高等級の耐震等級3を取得することで、安心して生活していただけるようになっています。また福島の冬を暖かく快適に暮らすために発泡ウレタン吹き付け工法を標準仕様とした高気密・高断熱住宅になっています。
- ・ 長期優良住宅の認定取得、住宅情報履歴の整備、瑕疵保険へ加入をしています。

●災害にも節水にも「雨水利用システム」
 雨水の利用により、日常的にトイレ用に使用し節水効果があります。また、車の洗車や庭の散水にも利用できます。

●環境にやさしい暖房「ペレットストーブ」
 福島県が、県産間伐材等の有効利用を図ることで、森林整備を促進するため利用推進事業を行っている環境循環型暖房ペレットストーブ。

●もちろん「長期優良住宅」の基準をクリア

●太陽光発電システム 2.2kW 標準搭載
 太陽光を利用し、お家で消費する電気をつくり、余った電気を電力会社へ売電する仕組みは発電した電力を非常用電源として使用します。

●高い断熱効果で光熱費を削減 [Low-E 遮断ガラス]
 有害な紫外線を84%もカット、お肌の健康とカーテンの日焼けを防ぎます。また、真夏の太陽の強烈な日射熱も60%カットします。冬は高い断熱効果で室内の暖かさを逃がしません。

福島県の冬を暖かく暮らすための高気密・高断熱

7.多用途電気機器 1.太陽電池モジュール
 3.パワーコンディショナ 2.蓄電池
 5.ソーラー熱電変換パネル 6.断熱・気密工法
 4.住宅用発電機 4.ソーラー発電に付随

地域住宅生産者グループ 福島環境防災住宅研究会

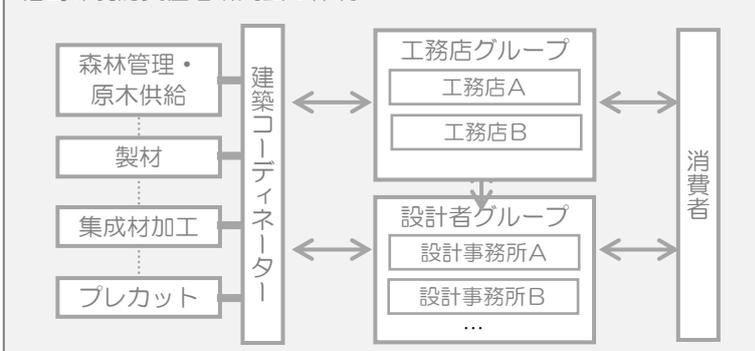
地域型復興住宅の生産供給や流通資材の調達に関する体制

■福島県産材による統一木材

- ・キャドデータ等の共有により材料寸法の規格化・接合方法の標準化をすることで、製材会社・資材会社と連携し資材調達を安定化しています。またそれにより乾燥材のストックを可能にし、安定的供給、品質の向上、工期短縮、コストダウンを可能にします。
- ・ペレットストーブを設置し、県産間伐材等を有効利用します。



福島環境防災住宅研究会の体制



施主からの相談体制および維持管理（アフターサービス）の体制・取組み

■永く住み継がれる家

- ・長期優良住宅の基準において建築主に維持管理計画の提供を行い、その計画に則りメンテナンスし工事履歴情報を構築するサポートをします。
- ・履歴情報は第三者機関により管理を行ないます。
- ・将来的にライフスタイルの変化があった場合は会員工務店によるきめ細やかな増改築・維持管理の提案を行えるように定期的な連絡体制をとっています。
- ・永く住み継がれる家にするために、地震や台風の後、施主と協力して臨時点検を行い、大切な家をしっかりメンテナンスサポートをしています。

